

配信開始!

無料

eラーニング

ミュージアム
アクセシビリティ
講座



ふがふが
TV



独立行政法人国立美術館

国立アトリサーチセンター
National Center for Art Research

国立アートリサーチセンター (NCAR) では、ミュージアムにおけるアクセシビリティについて学ぶeラーニング講座を開設します。あらゆる人が文化的な愉しみにアクセスできる機会を充実させることを目的としています。

身体や感覚の機能、文化的な背景、年齢などの違いに関わらず、だれもが等しくミュージアムを利用できるようになるには、どのようにしたら良いのでしょうか？ 2023年4月に施行された改正博物館法では、新しい博物館登録制度の基準要件において「高齢者、障害者、妊娠中の者、日本語を理解できない者その他博物館の利用に困難を有する者が博物館を円滑に利用するため」の対策が求められています。

アクセシビリティを進めるうえで重要なキーワード「合理的配慮」と「情報保障」を中心に、国内の美術館の事例から学び、実践するための基礎的な知識が身につく講座です。

1

全国どこからでも参加できる
eラーニング！
※事前登録が必要です

2

ミュージアムにおける
アクセシビリティの
基礎的な知識が身につく！

3

全講座を受講完了し、
修了要件を満たすと
独立行政法人国立美術館から
修了証が発行される！

対象

美術館・博物館・劇場など、文化施設に関わる人や
ミュージアムのアクセシビリティに関心のある人なら
どなたでも

※団体・組織の研修等において合同で視聴を希望する場合はご相談ください

参加条件

- 原則として、全7回の講座番組の視聴が可能なこと
- オンライン上で動画を見るためのデバイス（パソコン等）とインターネット環境があること
- 講座番組などの情報を受信できるメールアドレスがあること

申込方法

要事前登録・参加費無料

NCAR ウェブサイトの
登録フォームより
お申し込みください。

[https://ncar.artmuseums.go.jp/
events/accessibility/post2024-1449.html](https://ncar.artmuseums.go.jp/events/accessibility/post2024-1449.html)



登録締切

2024年9月29日(日)

受講してみようかな…？という方へ

講座でどのようなことが学べるのか、趣旨を説明するオリエンテーション動画を公開中！登録前に、申し込みページからご覧ください。



タイトル「ふかふかTV」には、
さまざまな意味を込めています。

- 「ふかふか」なマインドを育てよう ▶ 柔軟な対応を目指して
- アクセシビリティの芽が育つ、「ふかふか」な土を耕そう ▶ しっかりとした基盤整備を
- 「^{ふか}孵化」するように、新たな気持ちで挑戦しよう ▶ 実践につながるように
だれにでもやさしい美術館の姿を思い描く、eラーニング型の講座番組です。

受講のしかた

- 配信時間：毎回1時間（前半30分：講座番組＋後半30分：オンライン交流会）
※第7回の講座番組のみ60分（配信時のオンライン交流なし）
- 見逃し配信：講座番組のみ、**1週間**の視聴が可能
※配信時間に視聴できなくても申し込み可能

修了要件

- 講座番組30分を視聴する
 - 視聴後に「**リフレクション（ふりかえり）フォーム**」を期日までに提出する
 - 全7回の「**リフレクションフォーム**」を提出し、講座の内容を理解していると確認された場合、**修了証**が発行される
- すべての講座番組には、ろう者による手話通訳（手話表現）と日本語字幕がつきます
 - ウェブ会議ツールZoomを使って開催する「オンライン交流会」には、手話通訳と文字通訳がつきます
 - 受講するにあたってサポートが必要なこと、要望などがあれば、登録フォームよりお知らせください

講座内容とスケジュール

全7回

理論

第1回

ミュージアムにおける合理的配慮とは
日時：2024年10月17日（木）16:00~17:00

第2回

ミュージアムにおける情報保障とは
日時：2024年10月31日（木）16:00~17:00

第3回

目が見えない人・見えにくい人
@滋賀県立美術館
日時：2024年11月14日（木）16:00~17:00

第4回

耳が聞こえない人・聞こえにくい人
@金沢21世紀美術館
日時：2024年11月28日（木）16:00~17:00

第5回

車椅子利用者・ベビーカー利用者
@東京都庭園美術館
日時：2024年12月12日（木）16:00~17:00

第6回

初めての場所へ行くのが苦手な人
@東京都美術館
日時：2025年1月9日（木）16:00~17:00

第7回

ミュージアムのアクセシビリティについて語り合う
日時：2025年2月20日（木）16:00~17:00（オンライン交流会なし）

事例

まとめ



提供：滋賀県立美術館
伊庭靖子《Work 2011-5》《Work 2011-6》と触図



提供：金沢21世紀美術館（撮影：中川暁文）



提供：東京都庭園美術館（撮影：井手大）



提供：東京都美術館

出演・制作

出演者（一部）



〈ナビゲーター〉
鈴木 智香子

独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター 研究員

美術大学で版画制作をする傍ら、美術館でのインターン研修やボランティア活動をきっかけに美術館教育の道を進み始める。神奈川県立近代美術館、東京藝術大学（Museum Start あいうえの）での勤務を経て、2022年度より現職。人と人をつなぐこと、場づくりが好き。共著に『こどもと大人のためのミュージアム思考』（左右社、2022年）。



〈オリエンテーション〉
伊東 俊祐

独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター 客員研究員／國學院大學文学部助手

先天性の全ろう。國學院大學文学部博物館学研究室で研究教育に携わるとともに、国立アトリサーチセンターのアクセシビリティ事業を担当。博物館学を専門とし、障害者の生涯学習や文化芸術に関わる研究を進めている。



〈理論ゲスト〉
高橋 梨佳

NPO法人エイブル・アート・ジャパン「みんなでミュージアム」事務局

知的障害・自閉症の姉がいる経験から、障害のある人の身体性や表現に関心を持つ。生涯学習施設せんだいメディアテークではバリアフリー事業を担当。その後、宮城県仙台市を拠点とし、障害のある人とともに、創作活動、生涯学習、ミュージアムアクセス事業などに取り組む。



〈理論ゲスト〉
伊藤 芳浩

NPO法人インフォメーションギャップバスター 理事長

生まれつきのろう者であり、第一言語は日本手話。情報アクセシビリティとバリアフリーの推進に尽力。アート分野では、文化庁メディア芸術祭にて視聴覚障害者向けのワークショップのファシリテーターを務め、誰もが平等にアートを楽しめる環境づくりに取り組んでいる。著書に『マイノリティ・マーケティング』（筑摩書房、2023年）。

映像ディレクター

森内 康博

独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター 客員研究員／株式会社らくだスタジオ 代表

Q & A

Q この講座のタイトルにある「ミュージアム」とは何を指しますか？

A 美術館を含め、博物館法に基づく博物館全般を指します。考古・歴史・民俗・文学などの人文科学系博物館、自然史・理工学などの自然科学系博物館や、水族館、動植物園のほか、資料館や記念館なども含まれます。

Q 希望する情報保障に対応してもらえますか？

A 個別に調整します。登録フォームに必要なサポート内容を記入し、事前にお知らせください。

Q 講座の配信時間にオンタイムで参加できなくても、申し込みできますか？

A 申し込みできます。配信後1週間の見逃し配信をご活用ください。

Q 「オンライン交流会」はどのように行いますか？

A ウェブ会議ツールのZoomを使って開催します。参加者を対象に、質疑応答や感想を共有する時間です。事後の配信はありません。

Q 修了証はどうしたら発行してもらえますか？
どのような証明になりますか？

A 講座番組を視聴した後に毎回リフレクションフォームを期日までにすべて提出し、かつ講座の内容を理解していると主催者が確認した場合に修了証を発行します。本修了証は研修を受講したことを証明するものであり、法的な能力を証明するものではありません。自身の学びの成果としてご活用ください。



表紙：ウルシマトモコ《上空III》
©Able Art Company

文化庁委託事業「令和6年度障害者等による文化芸術活動推進事業」

主催：文化庁、独立行政法人国立美術館

企画・制作：独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター（NCAR）

制作協力：NPO法人 エイブル・アート・ジャパン

問い合わせ：NCARラーニング「ミュージアム・アクセシビリティ講座」事務局

メールアドレス：forum@artmuseums.go.jp



文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan



National Center
for Art Research